

## 岩手県職業能力開発に関する高校生等基礎調査の概要

### 1 調査の目的

岩手県内の高等学校に通学している生徒及びその保護者を対象として、将来の進路や就職等の職業意識を調査することにより、第10次岩手県職業能力開発計画（計画期間：平成28年度から平成32年度）の策定に活用するとともに、県の政策立案に寄与する基礎データを収集すること。

### 2 調査方法

#### (1) 調査対象

岩手県内に所在する全日制高等学校の2年生及び2年生の保護者。

#### (2) 対象高等学校及び生徒

- ・高校2年生が在学する県内全日制高等学校（77校（県立高校63校、盛岡市立高等学校1校、私立高等学校13校））。
- ・各高等学校2年生のいずれか1クラスを調査対象とし、クラスの半数は高校生本人を、残りの半数は保護者を対象とした調査とする。
- ・調査するクラスの選定については、調査対象の高等学校長の判断とする。

#### (3) 調査方法

郵送配布・郵送回収を基本とする

#### (4) 調査期間

平成27年12月～平成28年1月

#### (5) アンケート項目

(問1) あなた（お子様）の性別を教えてください。
(問2) あなた（保護者）が住んでいる地域（岩手県内の方は市町村、岩手県外の方は都道府県）をお答えください。
(問3) あなた（お子様）の所属している学科をお答えください。
(問4) あなた（保護者）が現在希望している、（お子様の）進路をお答えください
(問5) (問4)で①～⑤と回答した方、どのような分野を学びたい（学んでほしい）と考えていますか（2つ以内）。
(問6) 職業や就職先を決める際に、重視する（してほしい）点は何ですか（2つ以内）。
(問7) 将来、岩手県内の事業所に就職したい（してほしい）ですか。
(問8) (問7)で④または⑤とお答えした方、その理由は何ですか（2つ以内）。
(問9) 産業技術短期大学校について知っていますか。高等技術専門校について知っていますか。
(問10) もし産業技術短期大学校や高等技術専門校に入学するとしたら、どのような分野を学びたい（学んでほしい）ですか。
(問11) (問9)で①又は②とお答えした方、より魅力的な施設にするにはどのようにすればよいと思いますか。
(問12) その他、意見・要望等

### 3 有効回答件数

県内の2年生が在学する全日制高等学校 77 校中 74 校（県立高校 61 校、盛岡市立高等学校 1 校、私立高等学校 12 校）から、高校生 1450 件、保護者 1274 件、合計 2724 件の回答を得た。（参考：平成 27 年度の岩手県内全日制高校の2年生の生徒数 11,743 名）

### 4 調査結果の概要

#### （問 4 関係）進路について（⇒p. 13～p. 14）

約半数が「大学・短大」への進学を希望しており、「就職」が約 3 割、「専門学校」への進学希望者は約 2 割と続いている。

地域別では、県央地域は、「大学・短大」への進学希望者が比較的多く、「就職」の希望者が比較的少ない傾向にある。一方、沿岸地域では、「大学・短大」への進学希望者が比較的少なく、「就職」の希望者が比較的多い傾向にある。

#### （問 5 関係）将来学びたい分野について（⇒p. 15～p. 20）

「医療・福祉系」が約 3 割と最も多く、「教育・研究系」、「法律・公務員系」が約 1 割、「情報・通信系」や「養護・保育系」が 1 割程度となっている。

「医療・福祉系」は、医師、薬剤師、歯科技工士・歯科衛生士、看護師、理学療法士・作業療法士、保健師、介護士、児童福祉、臨床心理など、幅広い分野を含んでいるため、回答が集中したものと思われる。

#### 【再分類の結果】（⇒p.19～p.20）

なお、分野を表のとおり再分類し直すと、「医療・福祉系」が約 3 割、「工業系」「事務・営業系」が 2 割以上、「教育・公務員系」が約 2 割などとなっている。

#### （問 6 関係）職業や就職先に重視する点（⇒p. 21～P. 22）

約半数が「将来性や安定性がある」と回答しており、「好きな仕事かどうか」が約 4 割、「給与・賃金」が約 3 割、「人間関係」や「自分の知識や技術が活かせるか」が約 2 割と続いている。

#### （問 7 関係）県内事業所への就職について（⇒p. 23～p. 24）

全体では、「特にこだわらない」が約 4 割であるが、「県内に就職したい」が約 3 割、「どちらかという県内に就職したい」が約 2 割であり、県内就職志向は約 5 割となっている。一方、「就職したくない」と「どちらかという就職したくない」をあわせた約 1 割が県外就職を志向している。

なお、高校生では、「県外就職」が約 2 割、「県内就職」が約 4 割なのに対し、保護者では、「県外就職」は 1 割未満で、「県内就職」が約 6 割となっており、高校生と保護者の希望に差がみられる。

#### （問 8 関係）県外事業所への就職希望の理由について（⇒p. 25～p. 26）

「県外で生活したいから」が半数以上で、「県内に希望する仕事がない」、「県外企業の方が

安定性や将来性がある」が約3割、「県内では大きな仕事ができない」が約1割と続いている。  
保護者で県外就職を希望する理由は、「県外企業の方が安定性や将来性がある」が半数であり、「県内に希望する仕事がない」が約4割となっている。

**(問9 関係) 県立職業能力開発施設の認知度について (⇒p. 27～p. 30)**

**ア 産業技術短期大学校について (⇒p. 27～p. 28)**

「内容まで知っている」は約1割で、「名前は知っている」が約5割、「今回初めて知った」が約4割となっており、半数近い人が知らなかった。

県北地区や沿岸地区に比べて、施設が設置されている県央地区や県南地区の方が、認知度が比較的高い傾向がみられる。

**イ 高等技術専門校について (⇒p. 29～p. 30)**

「内容まで知っている」は1割未満で、「名前は知っている」と「今回初めて知った」がいずれも約5割となっており、産業技術短期大学校と同様に半数近い人が知らなかった。

県央地区に比べて、施設が設置されている県北地区や沿岸地区の方が、認知度が比較的高い傾向がみられる。

**ウ 高校生と保護者の認知度の違い**

産業技術短期大学校及び高等技術専門校のいずれも、「内容まで知っている」と「名前は知っている」をあわせた「知っている」の回答は、保護者が約6割に対して高校生は約4割であり、保護者に比べて高校生の認知度が低いことがうかがえる。

**(問10 関係) 県立職業能力開発施設で学びたい分野について (⇒p. 31～p. 33)**

「特になし」が約4割と最も多いが、これを除くと、「情報系」が約2割、「デザイン系」が約1割、これに「建築・設備系」、「機械・加工系」、「電気・電子系」、「自動車整備系」と続いている。

高校生の回答では、「特になし」を除くと、「デザイン系」が約2割と最も多く、「情報系」がこれに続くが、保護者の回答では「情報系」が約2割と最も多い。

**(問11 関係) 県立施設を魅力的な施設にする方法について (⇒p. 34～p. 35)**

「より高度な技能・技術の習得」が約3割、これに「魅力ある学科の新設」、「施設・設備の充実」が約2割、「指導体制の充実」、「近い場所にあるとよい」などが約1割と続いている。

**(問12 関係) その他の意見・要望について (⇒p. 36～p. 37)**

「もっとPRするべき」、「女子向きの学科があるとよい」など、多様な意見や感想をいただくことができた。